

2025年12月吉日

健保連人間ドック契約施設
ご担当者様

健診団体連絡協議会構成団体
一般社団法人 日本病院会 会長 相澤 孝夫
公益社団法人 全日本病院協会 会長 神野 正博
一般社団法人 日本総合健診医学会 理事長 西崎 泰弘
公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会 理事長 荒瀬 康司
(公印省略)

健保連人間ドック健診検査項目変更のご案内

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、健診団体連協議会では、健保連人間ドック健診項目の基本検査項目（必須項目およびオプション項目）の必須項目において、下記の通り、一部変更がありましたのでご案内致します。
お手数をお掛け致しますが、ご対応のほど、よろしくお願ひ申しあげます。

記

項目	内 容
区分	身体計測
対象検査項目	肥満度
変更内容	削除可
変更時期	2026年4月1日受診分から
変更理由	特定保健指導ではBMI（ボディマス指標）が使用されており、必ずしも必要ではないと考えられるため
備 考	必須外項目として希望される施設での採用については不問とする

以上

【本件問合せ】

健団協構成各団体窓口

2026年度 基準検査項目（健保連人間ドック健診項目表）

区分	項目	備考
必須項目	身長	
	体重	
	肥満度	削除可
	B M I	
	腹囲	
	血圧測定	原則2回測定値と平均値
	心電図	
	心拍数	
	眼底	両眼撮り
	眼圧	
	視力	
	聴力	簡易聴力
	呼吸機能	1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
	X線・超音波	
	胸部X線	2方向
	上部消化管X線	食道・胃・十二指腸。4ツ切等8枚以上 *1
	腹部超音波	検査対象臓器は肝臓（脾臓を含む）・胆のう・脾臓・腎臓・腹部大動脈とする。但し、脾臓検出できない時はその旨記載すること。
生物学	総蛋白	
	アルブミン	
	クレアチニン	
	e G F R	
	尿酸	
	総コレステロール	
	HDLコレステロール	
	LDLコレステロール	
	Non-HDLコレステロール	
	中性脂肪	
	総ビリルビン	
	AST (GOT)	
	ALT (GPT)	
	γ-GT (γ-GTP)	
	ALP	
血液学	血糖（空腹時）	
	HbA1c	
	赤血球	
	白血球	
	血色素	
	ヘマトクリット	
	MCHV	
	MCHC	
血清学	MCH	
	血小板数	
	C R P	定量法
	血液型 (ABO Rh)	本人の申し出により省略可
	H B s 抗原	本人の申し出により省略可

必須項目	尿	尿一般・沈渣	蛋白・尿糖・潜血など 沈渣は、蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
	便	潜血	免疫法で実施(2日法)
	問診・診察	医療面接	医療職が担うこと（原則、医師・保健師・看護師とする） 問診票（質問票）は、特定健診対象者には特定健診質問票22項目を含むこと。
		医師診察	胸部聴診、頸部・腹部触診など。 *2
	判定・指導	結果説明	医師が担うこと。 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2
		保健指導	医療職が担うこと（実施者は「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第4.2版）」に準ずること。医師の結果説明の間での実施も可とする） 受診勧奨、結果報告書、特定健康診査対象者には情報提供 *2
	上部消化管内視鏡		*3
オプション項目	乳房診察 + マンモグラフィ		乳房診察は医師の判断により省略することも可。
	乳房診察 + 乳腺超音波		
	婦人科診察 + 子宮頸部細胞診		検体採取は医師が実施すること。
	P S A		
	H C V 抗体		*4
*1 X線検査を基本とする。本人及び保険者から内視鏡検査の申し出があった場合は、オプション項目に掲げる金額を加算し実施する。			
*2 診察・説明・指導は、施設の実状を踏まえた効率的な運用を認める。なお、原則として医師による診察と結果説明は別々に行うこと。			
*3 内視鏡検査を行う際は、別途、十分な説明のもとに本人から文書同意を取得すること。原則、鎮痛薬・鎮静薬は使用しない。			
*4 厚労省の肝炎総合対策に基づき、未実施の場合は実施を推奨する。			